

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中で「その人らしく」「いきいきと」生活して頂くことをお手伝いし、「その人らしく」をいつまでも・・・を目標にし、実現に向けて取り組んでいる。	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員一人ひとりが、理念を実践していくために何をしたら良いか考え、試行錯誤しながらも実行し、日々入居者と向き合っている。	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	家族には入居の際だけでなく、機会あるごとに地域で暮らすことへの理解と協力を求め、運営推進会議でも、地域の一員として理解を求めている。	○ 広く地域の人々にも理解してもらえるように、運営推進会議だけではなく、機会あるごとに理念を説明していきたい
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	近所の人や散歩中の人には挨拶を心がけ、立ち寄ってもらえるよう声を掛け、犬の散歩の時間帯には外に出て、お話出来るように努めている	
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	毎月地域の高齢者の集まりに参加し、お祭りなどの行事への参加や、廃品回収などの活動にも協力し地元の人々との交流に努めている。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	○	具体的な行動に発展し、交流を通して認知症についてより理解が深まるように、今後も話し合いを続けていく
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	○	今後も、運営推進会議がより入居者の生活を豊かにするよう、内容や出席者についてもさらに考えていきたい
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	○	今後も協力しながら、行き来出来る機会を作っていきたい
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	○	今後、実際に地域権利擁護事業や成年後見制度を必要とする場合に備えて、一人ひとりが関心を持ち内容を良く理解しておくためにも、定期的に話し合っておく
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約を結んだり解約をする際は、不安や疑問を残さないように十分な説明を行い、納得して頂けるように努めている	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	職員は入居者の意見をまず第一に考えており、不満・苦情があれば解決出来るように話し合っており、日頃の関わりの中ですべての入居者が率直な気持ちを職員に話してくれている	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月お便りを発行し、日常の暮らしぶりや健康状態・職員の異動など報告し、家族が訪問した際は出納帳の確認や暮らしのアルバムを見てもらい、電話等でも個々の変化を連絡している	
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関にはご意見箱を置き、運営推進会議にも毎回家族に出席してもらい、来訪された際も、出来るだけ話しかけ意見を聴く様にして、運営に反映させている	
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に一度は必ずミーティングを行い、職員の意見や提案を取り上げ十分議論し、運営に反映させている	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	入居者や家族の状況に合わせて、柔軟な対応ができるように勤務を調整しており、必要に応じて管理者や職員が駆けつけ、同一法人内よりも応援してもらおう体制が出来ている	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>法人内の定期的な異動はなく、職員の勤務に対する希望・長期的な予定・不満等を日頃から聞いており、異動や離職を最小限に抑え、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修の情報を提供し、外部の研修の希望があれば、受け易いように勤務を調整し、法人内でも定期的に研修を行っており、職場内では毎月勉強会を行っている</p>	
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>職員は内覧会や見学などで情報交換を行い、管理者も同業者と交流する機会を設け、ネットワーク作りに取り組んでいる</p>	<p>○ 今後は、ネットワーク作りを発展させ、同業者との交流の機会を広げていきたい</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>一人ひとりの職員への負担を常に考え、法人内に申し立てることにより、規定以上の配置を実現し、可能な限り年休や希望を反映した勤務表を作り、ストレス軽減や良好な環境作りに取り組んでいる</p>	
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>運営者は、職員の努力や実績、勤務状況を把握し処遇に反映させ、研修会にも日勤扱いで積極的に参加を促し、向上心を持って働けるように努めている</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前には必ず本人に会い、不安なことや望むことなどについて十分お話を聴くと共に、こちらの雰囲気を分かって頂くためにも、事前に訪問して頂くようにすすめている	○	事前に訪問出来る方は少ないが、今後も少しでも新しい環境に慣れて頂けるような方法を考えていきたい
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前には家族と十分お話し、入居に至るまでの不安を受け止め、今後の希望や本人の様子を聞きながら、密に連絡を取っている		
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談初期には、本人と家族の思いを受け止めた上で、本人と家族の思いの相違がある場合も理解し、ホーム入居以外の必要性も考慮し、関係機関と連携しながら支援している		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人・家族には、事前に訪問してもらい、場の雰囲気に馴染んで頂けるよう働きかけているが、訪問出来る方が少ない	○	こちらから訪問する際の工夫などを考えていきたい
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、介護者としてではなく、共に生活をする生活者同士の関係であることを理解し、共に過ごし支えあう関係を築くように努力している		

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族へは、共に本人を支える協力者として接しており、お便りや訪問時、電話などで情報の共有や相談や依頼をして、本人のために協力し合える関係を築いている		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	これまでの本人と家族との関係の理解のため、職員一人ひとりが本人と家族からの情報収集に励み、訪問時には、落ち着いて生活している様子をアルバムなどを活用して伝え、その関係がより良く継続していくように努めている		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの人とは、継続して付き合えるようにお誘いしたり、馴染みの美容院に行った時はお友達に来て頂いたり、馴染みの場所には時々訪れるようにしている		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	入居者同士の関係を把握し、何かあってもすぐに割って入るのではなくギリギリまで見守り、入居者同士の関わりや協力を大切にしている		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	契約が終了した後も、すぐに関係を断ち切らずに、電話等で近況を伺い、必要な情報を提供している		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの思いを大切にしているが、なかなか表せない場合には、本人のために何が一番いいかを職員一人ひとりが考え、また話し合いながら支援している	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居の際は、入居後の生活に生かせる情報を関係者から出来るだけ取り、入居後も家族や友人が訪れた際は、積極的に話しかけ、ご本人から聞けなかった情報を得た時は、他の職員とも共有出来るようにしている	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一人ひとりの暮らしぶりや心身状態を、職員やまめに訪れる医師などが総合的に把握し、気づきや留意事項は申し送りを徹底し、それぞれの力を発揮しながらの健康的な生活を継続していけるように努めている	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人のより良い暮らしのために、本人、家族、主治医等の意見を聞き、職員全員で話し合いながら、それぞれの意見を反映した介護計画を作成している	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は3ヶ月に一度見直し、それ以前でも変化があれば本人、家族等と話し合い、現状に即した介護計画を作成している	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	現在は住まいとしての機能だけであるが、医師や看護師の訪問により、状態の変化を見極めながらの暮らしの継続をはかっており、本人や家族の相談には、法人内の機能を活かし、出来るだけ答える努力をしている	○ 今後の状況の変化に合わせ、法人内の機能も活用しながら支援していく
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	年に一度、消防職員立会いのもと、避難訓練を実施し指導や助言などをしてもらい、入居者の緊急時に備えている	
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人の希望や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と相談して、転居先を探したり他のサービスを利用出来るように支援している	
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議には、市の職員が出席しており、今のところ、特に協力して行っていることはない	○ 今後は、必要に応じて考えていきたい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人及び家族のかかりつけ医は継続しており、新規にかかる場合も、必ず納得して了解して頂いてから受診している</p>	
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>法人内に専門医がおり、職員がいつでも相談出来るようになっており、入居者が認知症に関する診断や治療を受けられるように支援している</p>	
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>法人内の入居者をよく知る看護職員が週に一度訪問して健康チェックを行い、健康管理について相談出来るようになっており、適切な医療を受けられるように支援している</p>	
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>入居者が入院した場合は、病院関係者との情報交換を行いながら、出来る限り早期に退院出来るように話し合っている</p>	
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化した場合や終末期についてご家族とは、出来る範囲やその時の状況に応じて、話し合っていくことになっている</p>	○ 更に具体的に、ご家族とは話し合っていきたい
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>重度化や終末期に向けて、職員間の話し合いや法人内の医療機関との検討をすすめている</p>	○ 今後は、より具体的な事例を挙げて、準備をすすめていきたい

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	一人ひとりに対して尊厳を傷つけない言葉かけを行い、申し送りやカンファレンスに気を配り、個人情報の取り扱いはマニュアル化して漏洩を防ぎ、日々の記録も保管場所を決め、プライバシーに配慮している	
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	本人の希望を第一としながらも、希望を表せない場合にも、出来る限り自分で決められるような声掛けを行っている	
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	職員側の決まりごとは最小限にしており、一人ひとりのペースや性格、力を最大限考慮して、その人の希望を聞きながら、一日が楽しく生活出来るように配慮している	
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	本人の望む美容院に行っており、希望があれば理美容師による訪問があり、その人らしいおしゃれが出来るように洋服は自分で選んでもらい、身の回りの小物にも気を配っている	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている		
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している		
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>		
61	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>		
62	<p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	○	<p>今後は、定期的に出かけられるように、個別レクリエーションとして定着させていきたい</p>
63	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>		
64	<p>○家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>		
(4)安心と安全を支える支援			
65	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室に鍵はなく、日中玄関は施錠せず自由に庭に行けるが、門は施錠しているため、外出は職員付き添いとなっている	○	門の施錠については、現状を考慮しながら常に職員全員で話し合っており、今後も検討していきたい
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員は、常に入居者の所在には気を配り、安全や体調を把握しながら、身近に居ても窮屈に感じないように配慮している		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	注意の必要な物品は、使い道に合わせて保管しており、個人所有の物品は、一人ひとりに合わせた管理方法をとっており、ハサミや安全ピンなどを手元に置いてある場合も、常に危険がないように配慮している		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故防止のためにパンフレットや勉強会等で知識を学び、一人ひとりの状態に合わせ、起こりうる事故を想定して、常に入居者の位置を把握し見守りながら、事故防止に取り組んでいる		
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	職員は、急変や事故発生時の対応マニュアルを把握し、医師による応急手当の訓練を受けており、研修などに参加した際は他のスタッフに伝達し、急変や事故発生時に備えている		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年一回の避難訓練を通して、入居者の避難状況を把握し、地域の緊急連絡網に加えてもらい、災害時には協力して行けるように自治会にも働きかけている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	<p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている</p>	<p>一人ひとりに起こり得るリスクについては、日頃から家族と話し合っており、リスクを回避しながらも普段の生活を重視したいことについても納得してもらっている</p>	
は			
73	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	<p>毎朝の健康観察や排泄・入浴時に変化を見逃さず、毎週訪れる医師や看護師にも素早く申し送り必要に応じて医療機関を受診し早目の対応を心がけている</p>	
74	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>一人ひとりの薬の情報や効果は、職員が共有出来るようにわかり易くファイルしており、服薬時は、必ず他の職員に確認してもらい安全に確実に飲めるよう支援しながら、状態の変化を素早く医師に相談し、なるべく薬を減らしていくようにしている</p>	
75	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>便秘予防のために、繊維質の多い食事と水分摂取適度な運動を行っているが、それでも便秘がちな利用者には、医師と相談し必要に応じて服薬などの支援を行っている</p>	
76	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>毎食後、歯磨きと入れ歯の手入れについて一人ひとりの力に応じた支援を実施し、夜間は入れ歯の消毒を行い、口腔内の清潔保持に努めている</p>	
77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>水分は十分確保出来るようにお茶の時間を多く設け、食事は栄養バランスを考え定期的に管理栄養士に助言してもらい、一人ひとりの状態に合わせた量を自分で食べられるように支援している</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	インフルエンザ・ノロウイルス・O-157・疥癬・結核・MRSA・肝炎等の予防や対策に対するマニュアルがあり、特に流行時にはマニュアルに添って予防策を実行しており、手洗いは日頃から徹底している		
79 ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	まな板・布巾等は毎日消毒しており、食材は毎日使い切る量を購入し、購入後は直ちに適切な場所に保管している		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり			
80 ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	外からの見通しが良く、玄関周りには季節の花があり、門の外にはベンチを置いて散歩中の人にも立ち寄ってもらえるような雰囲気作りに努めている		
81 ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間には自然な光が差し込み、不快な音もなく、季節や時期がわかりやすいものを置き、程よい生活感の中で居心地良く生活出来るように配慮している		
82 ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間では、気の合った入居者同士で過ごせたり、一人になれたり、人数によって様々な過ごせるような居場所がある		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	○	<p>今後の入居者の身体機能の低下に備えて、更なる安全のための設備の設置や、逆に身体機能の低下を招いている場合がないかについても考えていきたい</p>
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>		
87	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

陽だまりの一日は、掃除から始まります。でも、皆さんそんなに好きではありません。「ゴミじゃ死なないよ」と言いつつ掃き掃除。メニュー決めでも、食べたい物はいつも天ぷら・とんかつ・芋フライ・・・等々揚げ物ばかり。食事の支度も、「腹減っちゃったよ、早くご飯!」「働かざる者食うべからず!」「いいから、早くご飯!」と押し問答。「その人らしく」「いきいきと」生活するってこういうこと?でも、チラシで特売を見つけ“お一人様〇個”とあれば、車に乗れるだけ乗っていざ買出しへ。普段歩かない方が外食となるとスタスタ歩き、ご近所からおすそ分けがくるとみんなニコニコ。お祭り、お花見、運動会とどこへでも出掛け、しっかり食べておみやげまでもらってきます。何も特別なことをするのではなく、あたり前の毎日をみんなたくましく生きています。けんかもするけど、助け合ったり、労わり合ったり、悩みもあるけどそれでもまた笑顔で一日が始まるように、そんな生活を支えるために、私たちスタッフは、入居者と日々向き合い“何がその方のために一番いいのか”を精一杯考えています。特別なことはそれ程ないけど、あたり前の一日でも、一人ひとりにとっては大切な一日であることをしっかり胸に刻み、入居者の力を信じ共に生活しています。陽だまりのイメージそのままに、庭の木々や畑の作物に、そして縁側でくつろぐみんなの顔にも太陽が燦燦と降り注ぎ、家の中には毎日笑い声が響き、明るく楽しく、そして健康で。今日もご近所へ、行って来ます。